

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 08172495 A

(43) Date of publication of application: 02.07.96

(51) Int. Cl.

H04M 15/08

(21) Application number: 06316520

(71) Applicant: FUJITSU LTD

(22) Date of filing: 20.12.94

(72) Inventor: SAWADA KATSUTO

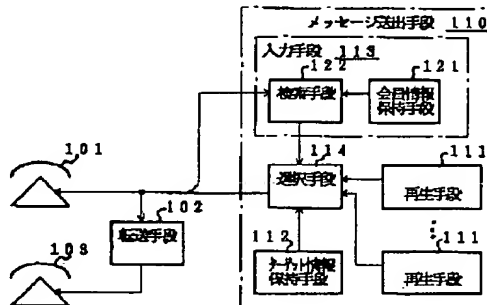
(54) SERVICE SYSTEM FOR BEARING OF CALL CHARGE

(57) Abstract:

PURPOSE: To selectively transmit plural commercial messages by holding the target information in response to each of plural reproduction means.

CONSTITUTION: An information holding means 112 holds the target information in response to each of plural reproduction means 111. A selection means 114 collates the identification information inputted by an input means 113 with the target information. Thus a message transmission means 110 can selectively transmit the commercial messages which are advertised to users. Then the telephone transfer service is attained by a transfer means 102 to the users to whom the advertisement effects are expected by the transmitted commercial messages.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO



J1017 U.S. PTO
09/916280
07/36/01

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 8 - 1 7 2 4 9 5

(43) 公開日 平成 8 年 (1 9 9 6) 7 月 2 日

(51) Int. Cl.
H04M 15/08

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平 6 - 3 1 6 5 2 0
(22) 出願日 平成 6 年 (1 9 9 4) 1 2 月 2 0 日

(71) 出願人 0 0 0 0 0 5 2 2 3
富士通株式会社
神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番
1 号
(72) 発明者 澤田 克仁
神奈川県川崎市中原区上小田中 1 0 1 5 番
地 富士通株式会社内
(74) 代理人 弁理士 古谷 史旺 (外 1 名)

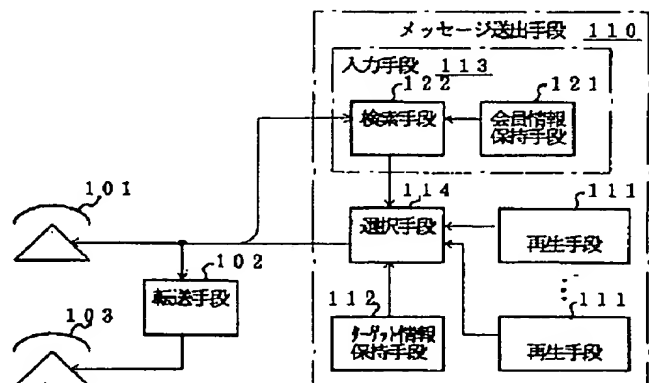
(54) 【発明の名称】 通話料金負担サービスシステム

(57) 【要約】

【目的】 利用者に応じて、送出するメッセージを変更可能な通話料金負担サービスシステムを提供する。

【構成】 発信元 1 0 1 の利用者からフリーダイヤルへの呼に応じて、メッセージ送出手段 1 1 0 が商業メッセージを送出した後に、転送手段 1 0 2 により、指定された転送先 1 0 3 に電話を転送する通話料金負担サービスシステムにおいて、メッセージ送出手段 1 1 0 は、再生指示に応じてそれぞれ異なる商業メッセージを再生する複数の再生手段 1 1 1 と、各商業メッセージに対応して、スポンサーが意図している対象を示すターゲット情報を保持するターゲット情報保持手段 1 1 2 と、利用者の特徴を表す識別情報を入力する入力手段 1 1 3 と、識別情報とターゲット情報とを照合し、複数の再生手段 1 1 1 のいずれか一つを選択して再生指示を送出する選択手段 1 1 4 とを備える。

本発明の通話料金負担サービスシステムの原理ブロック図



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 発信元の利用者からフリーダイヤルへの呼に依じて、メッセージ送出手段がコマーシャルメッセージを送出した後に、転送手段により、指定された転送先に電話を転送する通話料金負担サービスシステムにおいて、

メッセージ送出手段は、

それぞれ異なるコマーシャルメッセージを記録しており、再生指示に依じて記録したコマーシャルメッセージを再生する複数の再生手段と、

前記複数の再生手段のそれぞれに記録されたコマーシャルメッセージに対応して、スポンサーが意図している対象を示すターゲット情報を保持するターゲット情報保持手段と、

利用者の特徴を表す識別情報を入力する入力手段と、前記識別情報と前記ターゲット情報とを照合し、前記複数の再生手段のいずれか一つを選択して再生指示を送出する選択手段とを備えた構成であることを特徴とする通話料金負担サービスシステム。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の通話料金負担サービスシステムにおいて、

入力手段は、

予め募った会員のそれぞれに関する詳細な会員情報を会員番号に対応して保持する会員情報保持手段と、

会員番号の入力に依じて、前記会員情報保持手段から該当する会員情報を検索する検索手段とを備えた構成であることを特徴とする通話料金負担サービスシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、スポンサーが提供するコマーシャルメッセージを聞くことを条件に利用者の通話料金を一定時間分だけ負担するサービスを提供する通話料金負担サービスシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 図 6 に、従来の通話料金負担サービスシステムの構成例を示す。図 6 において、通話料金負担サービスシステムに備えられた入トランク（ICT）501 が利用者 A からの呼を検出すると、呼処理プロセッサ 502 は、スイッチ回路 503 を制御して、まず、上述した入トランク 501 とメッセージトランク 510 とを接続する。

【0003】 そして、このメッセージトランク 510 に備えられた音声再生部 511 により、音声記録部 512 に記録されたスポンサーが提供する音声によるコマーシャルメッセージと利用者に音声によって操作手順を説明するガイドメッセージとが順次に再生され、上述したスイッチ回路 503 および入トランク 501 を介して利用者 A に送出される。

【0004】 このガイドメッセージとしては、通話したい相手先の利用者 B の電話番号を示すプッシュボタン信

号の入力を促すメッセージを音声記録部 512 に記録しておき、上述したコマーシャルメッセージに続いて送出すればよい。ガイドメッセージの送出終了を示す通知に依じて、サービス制御部 504 は、呼処理プロセッサ 502 を介してスイッチ回路 503 を制御し、入トランク 501 とレジスタトランク 520 とを接続する。

【0005】 上述したガイドメッセージに依じて利用者 A によって入力されたプッシュボタン信号は、レジスタトランク 520 によって受信され、サービス制御部 504 に通知される。このとき、サービス制御部 504 は、このプッシュボタン信号で示される電話番号を宛て先として、入トランク 501 への着信回線を転送する旨を呼処理プロセッサ 502 に指示すればよい。

【0006】 これに依じて、呼処理プロセッサ 502 は、入力されたプッシュボタン信号を解析し、この解析結果に基づいて、まず、適切な出トランク 505 を判別し、該当する出トランク（OGT）505 に利用者 B の電話番号情報を入力して発呼処理を指示する。その後、利用者 B からの応答に依じて、呼処理プロセッサ 502 が、スイッチ回路 502 を制御して、上述した入トランク 501 とこの出トランク 505 とを接続すれば、利用者 A と利用者 B との間の通話路が設定される。

【0007】 ここで、上述した入トランク 501 についてフリーダイヤルサービスを適用し、この入トランク 501 に着信した呼についての料金を着信側の加入者の負担としておけば、上述したようにして、コマーシャルメッセージの聴取を条件として、利用者 A と利用者 B との間の通話料金を通話料金負担サービスシステムが利用者 A に代わって負担するサービスを実現することができ

る。

【0008】 この場合に、入トランク 501 あるいは出トランク 505 の少なくとも一方から終話通知があったときと上述した通話路の設定から所定の時間が経過したときに、呼処理プロセッサ 502 は、スイッチ 503 に入トランク 501 と出トランク 505 との通話路を解除する旨を指示するとともに、入トランク 501 および出トランク 505 に回線の切断を指示すればよい。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】 上述したように、従来の通話料金負担サービスシステムにおいては、基本的にサービスを利用する利用者を識別していない。したがって、スポンサーが意図しているターゲットに属さない利用者がサービスの恩恵を受けてしまう場合がある。

【0010】 本発明は、利用者に応じて、複数のコマーシャルメッセージのいずれかを選択的に送出する通話料金負担サービスシステムを提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】 図 1 は、本発明の通話料金負担サービスシステムの原理ブロック図である。請求項 1 の発明は、発信元 101 の利用者からフリーダイヤ

10

20

30

40

50

ルへの呼に応じて、メッセージ送出手段 1 1 0 がコマーシャルメッセージを送出した後に、転送手段 1 0 2 により、指定された転送先 1 0 3 に電話を転送する通話料金負担サービスシステムにおいて、メッセージ送出手段 1 1 0 は、それぞれ異なるコマーシャルメッセージを記録しており、再生指示に応じて記録したコマーシャルメッセージを再生する複数の再生手段 1 1 1 と、複数の再生手段 1 1 1 のそれぞれに記録されたコマーシャルメッセージに対応して、スポンサーが意図している対象を示すターゲット情報を保持するターゲット情報保持手段 1 1 2 と、利用者の特徴を表す識別情報を入力する入力手段 1 1 3 と、識別情報とターゲット情報とを照合し、複数の再生手段 1 1 1 のいずれか一つを選択して再生指示を送出する選択手段 1 1 4 とを備えた構成であることを特徴とする。

【0012】請求項 2 の発明は、請求項 1 に記載の通話料金負担サービスシステムにおいて、入力手段 1 1 3 は、予め募った会員のそれぞれに関する詳細な会員情報を会員番号に対応して保持する会員情報保持手段 1 2 1 と、会員番号の入力に応じて、会員情報保持手段 1 2 1 から該当する会員情報を検索する検索手段 1 2 2 とを備えた構成であることを特徴とする。

【0013】

【作用】請求項 1 の発明は、複数の再生手段 1 1 1 に対応してターゲット情報保持手段 1 1 2 にそれぞれのターゲット情報が保持されているから、選択手段 1 1 4 が、入力手段 1 1 3 で入力された識別情報と上述したターゲット情報とを照合することにより、メッセージ送出手段 1 1 0 によって、利用者を広告の対象としているコマーシャルメッセージを選択的に送出することができる。

【0014】これにより、送出したコマーシャルメッセージによる宣伝効果が期待できる利用者に対して、転送手段 1 0 2 による電話の転送サービスを提供することが可能となる。請求項 2 の発明は、会員番号の入力に応じて、検索手段 1 2 2 が会員情報保持手段 1 2 1 を検索することにより、詳細な会員情報が得られるので、サービスを利用する利用者の利便性を向上するとともに、コマーシャルメッセージの選択の精度を向上することが可能であるから、対象を絞り込んだコマーシャルメッセージにも柔軟に対応することができる。

【0015】

【実施例】以下、図面に基づいて本発明の実施例について詳細に説明する。図 2 は、請求項 1 の発明の通話料金負担サービスシステムの実施例構成図である。図 2 において、通話料金負担サービスシステムは、図 6 に示した従来の通話料金負担サービスシステムのメッセージトランク 5 1 0 に代えて、ガイダンス用メッセージトランク 2 1 0 と複数のコマーシャル用メッセージトランク 2 2 0、～220、とを備えて構成されている。

【0016】このガイダンス用メッセージトランク 2 1

0 は、図 6 に示したメッセージトランクと同様に、音声記録部と音声再生部と（図示せず）を備えており、利用者に操作を説明するガイダンスメッセージをスイッチ回路 5 0 3 を介して回線に送出する構成となっている。一方、複数のコマーシャル用メッセージトランク 2 2 0、～220、は、再生手段 1 1 1 に相当するものであり、それぞれ異なるコマーシャルメッセージを記録した音声記録部（図示せず）と対応する音声再生部（図示せず）とを備え、それぞれのコマーシャルメッセージを再生してスイッチ回路 5 0 3 を介して回線に送出する構成となっている。

【0017】また、図 2 において、ターゲット情報保持部 2 3 0 は、ターゲット情報保持手段 1 1 2 に相当するものであり、上述したコマーシャルメッセージのそれぞれに対応して、スポンサーがターゲットとして意図している消費者に関するターゲット情報を格納する構成となっている。この通話料金負担サービスシステムに備えられたサービス制御部 2 4 0 は、後述するようにして利用者から入力された識別情報を解析する入力解析部 2 4 1 と、この解析結果と上述したターゲット情報とを照合する照合処理部 2 4 1 を備えており、この照合処理部 2 4 2 による照合結果に基づいて、手順制御部 2 4 3 が呼処理プロセッサ 5 0 2 を介してスイッチ回路 5 0 2 による通話路の形成動作を制御する構成となっている。

【0018】以下、本発明の通話料金負担サービスシステムの動作を説明する。図 3 に、この通話料金負担サービスシステムの動作を表す流れ図を示す。ステップ 3 0 1 において、入トランク 5 0 1 が利用者 A からの呼を検出すると、呼処理プロセッサ 5 0 2 は、スイッチ回路 5 0 3 を制御して、まず、入トランク 5 0 1 と上述したガイダンス用メッセージトランク 2 1 0 とを接続する。

【0019】これに応じて、ガイダンス用メッセージトランク 2 1 0 により、ガイダンスメッセージが再生されて（ステップ 3 0 2）、スイッチ回路 5 0 3 を介して回線に送出され、利用者 A に提供される。ここで、上述したガイダンスメッセージとしては、例えば、この通話料金負担サービスシステムによるサービスを案内する案内メッセージとともに、利用者の性別や年齢などのような利用者を識別するための識別情報の入力を促す入力促進メッセージを記録しておけばよい。

【0020】上述したガイダンスメッセージの再生が終了した後に、サービス制御部 2 4 0 の手順制御部 2 4 3 は、呼処理プロセッサ 5 0 2 を介してスイッチ回路 5 0 3 を制御し、入トランク 5 0 1 をレジスタトランク 5 2 0 に接続し、このレジスタトランク 5 2 0 により、上述した入力促進メッセージに応じて、利用者 A が入力した識別情報を示すプッシュボタン信号を受信する（ステップ 3 0 3）。

【0021】このように、サービス制御部 2 4 0 の指示に応じて、呼処理プロセッサ 5 0 2 およびスイッチ回路

10

20

30

40

50

5 0 3 が動作し、ガイダンス用メッセージトランク 2 1 0 およびレジスタトランク 5 2 0 を切り換えて動作させることにより、これらの各部によって、入力手段 1 1 3 の機能を実現し、利用者の識別情報の入力を受け取ることが可能となる。

【 0 0 2 2 】 上述したステップ 3 0 3 において受信された識別情報は、サービス制御部 2 4 0 の入力解析部 2 4 1 を介して照合処理部 2 4 2 に入力され、ターゲット情報保持部 2 2 0 に保持されたターゲット情報との照合処理を行って、識別情報に最も近いターゲット情報を検出し（ステップ 3 0 4）、手順制御部 2 4 3 に通知する。

【 0 0 2 3 】 この検出結果に応じて、手順制御部 2 4 3 は、検出されたターゲット情報に対応するコマーシャル用メッセージトランク 2 2 0、を選択し、呼処理プロセッサ 5 0 2 を介してスイッチ回路 5 0 3 を制御して、入トランク 5 0 1 と該当するコマーシャル用メッセージトランク 2 2 0 とを接続する（ステップ 3 0 5）。このように、照合処理部 2 4 2 からの通知に応じて、手順制御部 2 4 3 が呼処理プロセッサ 5 0 2 を介してスイッチ回路 5 0 3 を制御することにより、選択手段 1 1 4 の機能を実現し、識別情報に適合するコマーシャルメッセージが記録されたコマーシャル用メッセージトランク 2 2 0 を選択的に動作させることができる。

【 0 0 2 4 】 これにより、該当するコマーシャル用メッセージトランク 2 2 0 が、ステップ 3 0 6 において、自身に備えられた音声記録部 2 2 1 に記録されたコマーシャルメッセージを再生することにより、利用者 A の識別情報に適合したコマーシャルメッセージを提供することができる。その後、手順制御部 2 4 3 は、呼処理プロセッサ 5 0 2 を介してスイッチ回路 5 0 3 を制御し、再び、入トランク 5 0 1 をレジスタトランク 5 2 0 に接続し、このレジスタトランク 5 2 0 により、利用者 A から利用者 B の電話番号を示すプッシュボタン信号の入力を受信する（ステップ 3 0 6）。

【 0 0 2 5 】 次に、手順制御部 2 4 3 は、受信したプッシュボタン信号を転送先の電話番号として呼処理プロセッサ 5 0 2 に送出し、利用者 A からの着信回線を該当する宛て先に転送する旨を指示する（ステップ 3 0 7）。これに応じて、呼処理プロセッサ 5 0 2 は、ステップ 3 0 8 において、従来と同様にして、利用者 A からの着信回線の転送作業を行うとともに、タイマに所定の時間を設定して起動すればよい。

【 0 0 2 6 】 このように、手順制御部 2 4 3 の指示に応じて、レジスタトランク 5 2 0 および呼処理プロセッサ 5 0 2、スイッチ回路 5 0 3 が動作することにより、転送手段 1 0 2 の機能を実現し、利用者 A と利用者 B との間の通話路が形成され、両者のあいだでの通話が可能となり、利用者 A に通話料金負担サービスを提供することができる。

【 0 0 2 7 】 その後、呼処理プロセッサ 5 0 2 は、ステ

ップ 3 0 9 において、上述したタイマからの通知を検出するか、ステップ 3 1 0 において、入トランク 5 0 1 あるいはステップ 3 0 8 で補足された出トランク 5 0 5 の少なくとも一方から終話通知が検出されるまで接続時間監視を行い、ステップ 3 0 9 あるいはステップ 3 1 0 の肯定判定に応じて回線を切断し（ステップ 3 1 1）、処理を終了すればよい。

【 0 0 2 8 】 上述したように、本発明の通話料金負担サービスシステムにおいては、ステップ 3 0 3 において入力された利用者の識別情報に基づいて、サービス制御部 2 4 0 が、ステップ 3 0 4 の照合処理を行い、コマーシャルメッセージの選択に反映している。これにより、利用者の特徴に応じて、その特徴を持った消費者をターゲットとしたコマーシャルメッセージを選択的に提供することができる。すなわち、スポンサーがターゲットとして意識している消費者に、そのスポンサーのコマーシャルメッセージを提供し、これを条件として通話料金の負担サービスを提供することができるので、このサービスによる宣伝効果をより有効なものとすることができる。

【 0 0 2 9 】 また、請求項 2 の発明を適用し、更に詳細な識別情報を会員情報として蓄積しておけば、コマーシャルメッセージの選択をよりきめ細かく行うことができる。例えば、図 4 に示すように、図 2 に示した通話料金負担サービスシステムに、会員情報保持手段 1 2 1 に相当する会員情報データベース 2 5 0 と登録処理部 2 6 0 とを付加し、この登録処理部 2 6 0 により、利用者に固有の会員番号を与え、この会員番号に対応して、該当する会員の特徴に関する会員情報を会員情報データベース 2 5 0 に登録する構成とすればよい。

【 0 0 3 0 】 この図 4 に示したガイダンス用メッセージトランク 2 1 0 は、音声記録部 2 1 1 および音声再生部 2 1 2 に加えて、レジスタ部 2 1 3 を備えた構成となっており、このレジスタ部 2 1 3 により、スイッチ回路 5 0 3 を介して入力されるプッシュボタン信号を受信して蓄積し、サービス制御部 2 4 0 による処理に供する構成となっている。

【 0 0 3 1 】 また、図 4 において、サービス制御部 2 4 0 に備えられた検索処理部 2 4 4 は、検索手段 1 2 2 に相当するものであり、入力解析部 2 4 1 からの指示に応じて、上述した会員情報データベース 2 5 0 を検索し、検索結果を利用者の識別情報として照合処理部 2 4 2 に送出する構成となっている。この場合は、利用者が、性別や年齢などとともに、職業や配偶者の有無、趣味、年収などの詳細な情報を会員情報として予め登録していれば、会員番号を入力するだけでサービスを受けることができる。

【 0 0 3 2 】 なお、上述した会員情報データベース 2 5 0 は、例えば、雑誌などを通じて会員を募集し、応募書類に記載された事項を登録処理部 2 6 0 によって登録することによって形成すればよい。また、入力解析部 2 4

1 による解析結果に応じて、利用者が入力した識別情報を登録処理部 2 5 0 に送出して登録処理に供する構成とすれば、利用者からの要求に応じて、利用者がサービスの要求の際に入力した識別情報を会員情報として登録することも可能である。

【 0 0 3 3 】 図 5 に、請求項 2 の通話料金負担サービスシステムの動作を表す流れ図を示す。まず、上述したステップ 3 0 1、ステップ 3 0 2 と同様にして、利用者 A からの呼の検出に応じて、ガイダンス用メッセージトランク 2 1 0 を動作させ（ステップ 4 0 1、4 0 2）、音声再生部 2 1 2 によりガイダンスメッセージを再生して、利用者の識別情報の入力を促す。

【 0 0 3 4 】 この場合は、ガイダンスメッセージとして、まず、利用者が会員であるか否かを示す情報の入力を促すメッセージを送出すればよい。また、このガイダンスメッセージに対する利用者からの応答として入力されたプッシュボタン信号をレジスタ部 2 1 3 によって受信し（ステップ 4 0 3）、このプッシュボタン信号を入力解析部 2 4 1 によって解析した結果に基づいて、手順制御部 2 4 3 は、利用者が会員であるか否かを判定し（ステップ 4 0 4）、この判定結果に応じて、それぞれ後述する処理を行えばよい。

【 0 0 3 5 】 まず、ステップ 4 0 4 における肯定判定の場合はステップ 4 0 5 に進み、レジスタ部 2 1 3 によって会員番号を示すプッシュボタン信号を受信する。このプッシュボタン信号を入力解析部 2 4 1 によって解析して得られる会員番号に基づいて、検索処理部 2 4 4 が、会員情報データベース 2 4 1 を参照し（ステップ 4 0 6）、該当する会員情報を照合処理部 2 4 2 に送出する。

【 0 0 3 6 】 これに応じて、照合処理部 2 4 2 は、上述したステップ 3 0 4 と同様の照合処理を行って（ステップ 4 0 7）、適切なコマーシャル用メッセージトランク 2 2 0 を選択し、選択結果を手順制御部 2 4 3 に通知すればよい。この場合は、会員番号の入力に応じて、会員情報データベース 2 5 0 から詳細な会員情報が得られるから、利用者の職業などを考慮しながらコマーシャルメッセージの選択を行うことが可能であり、コマーシャルメッセージによる宣伝効果の向上が期待できる。

【 0 0 3 7 】 ステップ 4 0 8 において、ステップ 4 0 7 で選択されたコマーシャルメッセージを再生したのちに、上述したステップ 3 0 6 ～ステップ 3 0 8 と同様にして、転送処理を行えばよい（ステップ 4 0 9）。また、その後は、ステップ 3 0 9 ～ステップ 3 1 0 と同様にして、接続時間の監視を行って（ステップ 4 1 0 ～ステップ 4 1 1）、タイマからの通知あるいは入トランク 5 0 1 あるいは出トランク 5 0 5 からの終話通知に応じて回線を切断し（ステップ 4 1 2）、処理を終了すればよい。

【 0 0 3 8 】 ところで、上述したステップ 4 0 4 にお

る否定判定の場合に、手順制御部 2 4 3 は、ステップ 4 1 3 において、ガイダンス用メッセージトランク 2 1 0 の音声再生部 2 1 2 を制御し、利用者に対して、会員登録を希望するか否かについて応答を促すガイダンスメッセージを送出し、ステップ 4 1 4 において、これに対する応答をレジスタ部 2 1 3 によって受信すればよい。

【 0 0 3 9 】 利用者が会員登録を希望する旨の応答を返した場合は、ステップ 4 1 5 における肯定判定となり、ステップ 4 1 6 に進み、上述した会員番号の入力と同様にして、会員情報の入力を行う。この場合は、利用者の特徴について、できるだけ多くの情報を得るために、ガイダンス用メッセージトランク 2 1 0 の音声再生部 2 1 2 により、様々な事項に関する質問を行うためのメッセージを順次に再生し、これらのメッセージに対する応答を順次にレジスタ部 2 1 3 によって受信すればよい。

【 0 0 4 0 】 また、このとき、上述したレジスタ部 2 1 3 によって受信されたプッシュボタン信号は、順次にサービス制御部 2 4 0 に送出され、入力解析部 2 4 1 を介して照合処理部 2 4 3 に入力されるとともに、登録処理部 2 6 0 に送出される。これに応じて、登録処理部 2 6 0 は、新しく入力された会員情報に対して会員番号を与え、会員情報データベース 2 5 0 に、この会員番号に対応してステップ 4 1 6 で入力された会員情報を登録する（ステップ 4 1 7）。

【 0 0 4 1 】 その後、ステップ 4 0 7 に進んで、以降の照合処理、コマーシャルメッセージの再生処理および転送処理を行えばよい。一方、ステップ 4 1 4 において、利用者から希望しない旨の応答を受信した場合は、ステップ 4 1 5 の否定判定となる。この場合は、ステップ 4 1 8 に進んで、上述したステップ 3 0 3 と同様にして、利用者の最低限の識別情報の入力を受け取り、その後は、ステップ 4 0 7 に進んで、以降の照合処理、コマーシャルメッセージの再生処理および転送処理を行えばよい。

【 0 0 4 2 】 このようにして、通話料金負担サービスシステムによるサービスの提供を受ける際に、利用者に関する情報を会員情報として登録することが可能となり、会員情報データベース 2 5 0 の内容を充実させることができる。これにより、ターゲットを絞り込んだコマーシャルメッセージにも柔軟に対応し、適切な消費者にサービスを提供し、有効な宣伝効果を上げることができる。

【 0 0 4 3 】

【発明の効果】 以上説明したように本発明は、サービスの利用者から利用者に関する識別情報の入力を受け、この識別情報に応じて、適切なコマーシャルメッセージを選択するので、スポンサーが意図したターゲットにコマーシャルメッセージを提供することが可能であり、コマーシャルメッセージによる宣伝効果を向上することができる。

【 0 0 4 4 】 更に、サービスの会員を募って、詳細な会

10

20

30

40

50

員情報を登録しておくことにより、サービスを受ける際の利用者の利便性を向上するとともに、よりターゲットを絞ったコマースシャルメッセージにも対応することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の通話料金負担サービスシステムの原理ブロック図である。

【図 2】請求項 1 の通話料金負担サービスシステムの実施例構成図である。

【図 3】通話料金負担サービスシステムの動作を表す流れ図である。

【図 4】請求項 2 の通話料金負担サービスシステムの実施例構成図である。

【図 5】通話料金負担サービスシステムの動作を表す流れ図である。

【図 6】従来の通話料金負担サービスシステムの構成例を示す図である。

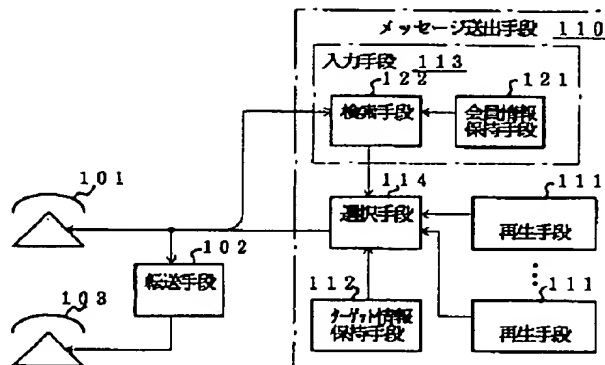
【符号の説明】

1 0 1 発信元
1 0 2 転送手段
1 0 3 転送先
1 1 0 メッセージ送出手段
1 1 1 再生手段
1 1 2 ターゲット情報保持手段

1 1 3 入力手段
1 1 4 選択手段
1 2 1 会員情報保持手段
1 2 2 検索手段
2 1 0 ガイダンス用メッセージトランク
2 1 1, 5 1 1 音声記録部
2 1 2, 5 1 2 音声再生部
2 1 3 レジスタ部
2 2 0 コマースシャル用メッセージトランク
2 3 0 ターゲット情報保持部
2 4 0, 5 0 4 サービス制御部
2 4 1 入力解析部
2 4 2 照合処理部
2 4 3 手順制御部
2 4 4 検索処理部
2 5 0 会員情報データベース
2 6 0 登録処理部
5 0 1 入トランク (I C T)
5 0 2 呼処理プロセッサ
5 0 3 スイッチ回路
5 0 5 出トランク (O G T)
5 1 0 メッセージトランク
5 2 0 レジスタトランク

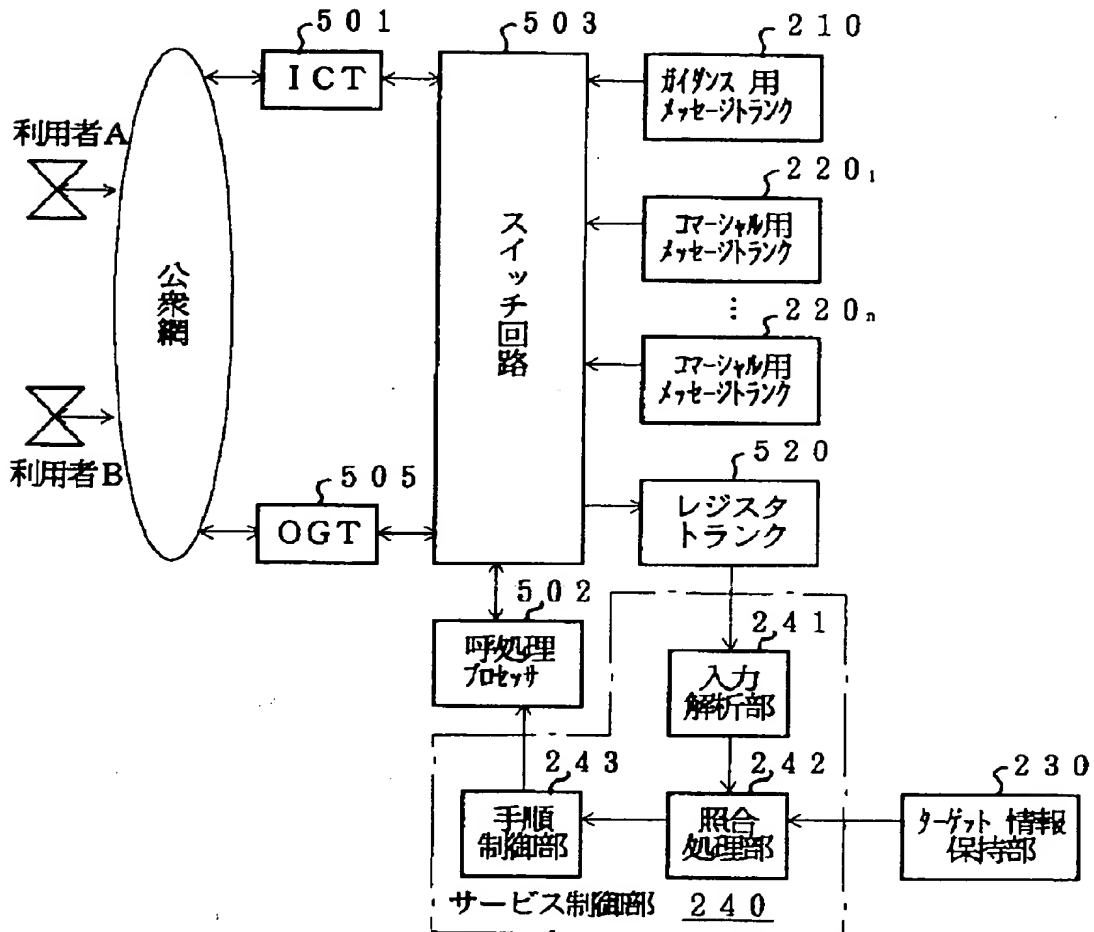
【図 1】

本発明の通話料金負担サービスシステムの原理ブロック図



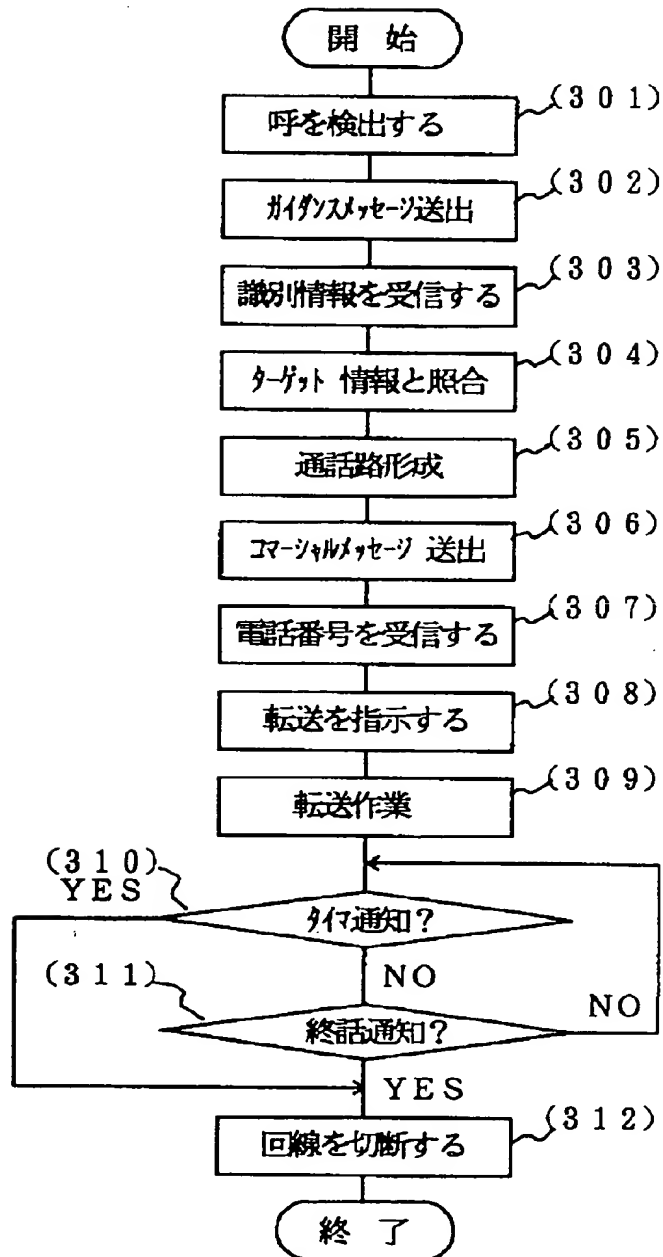
【図 2】

請求項 1 の通話料金負担サービスシステムの実施例構成図



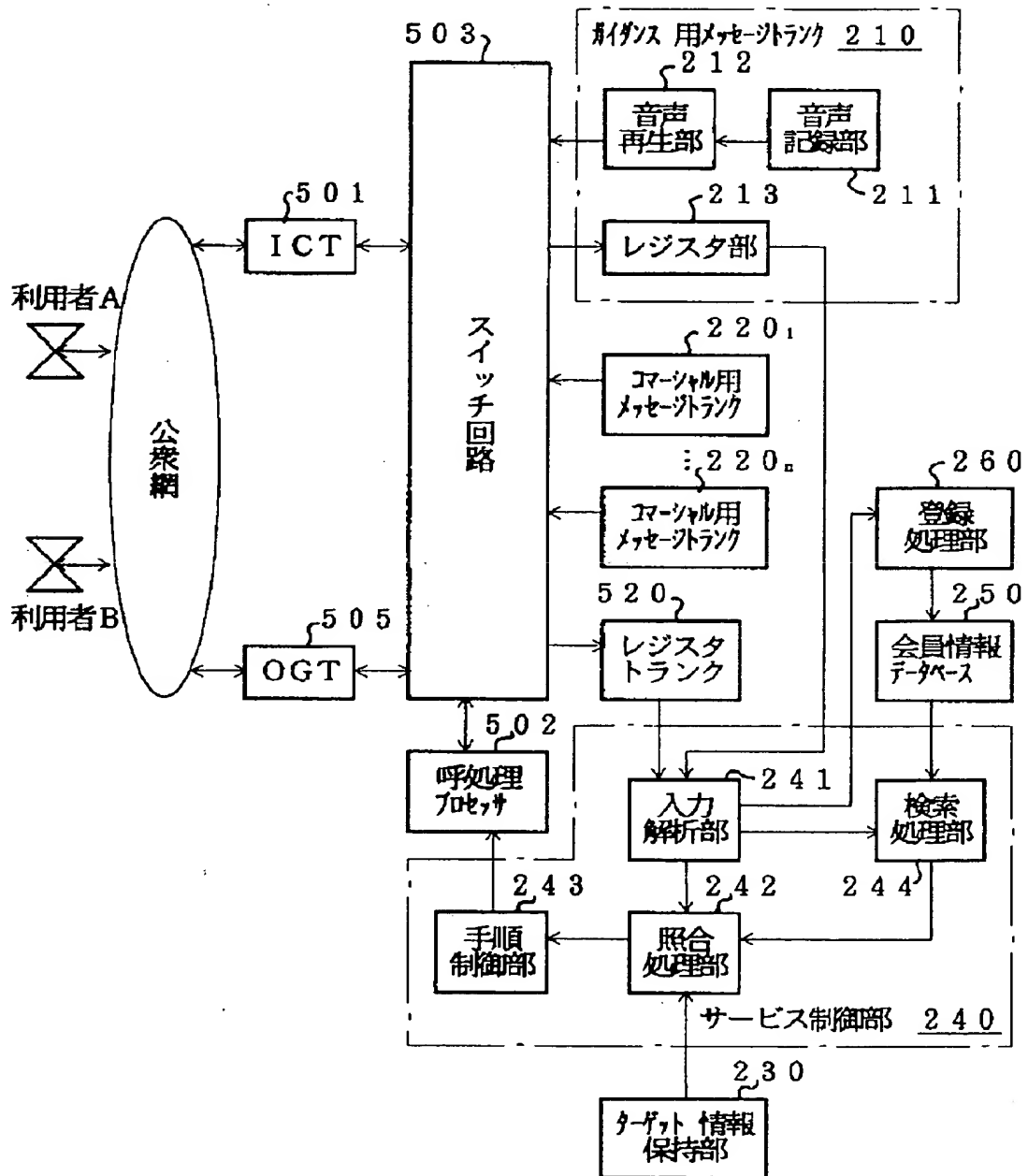
【図 3】

通話料金負担サービスシステムの動作を表す流れ図



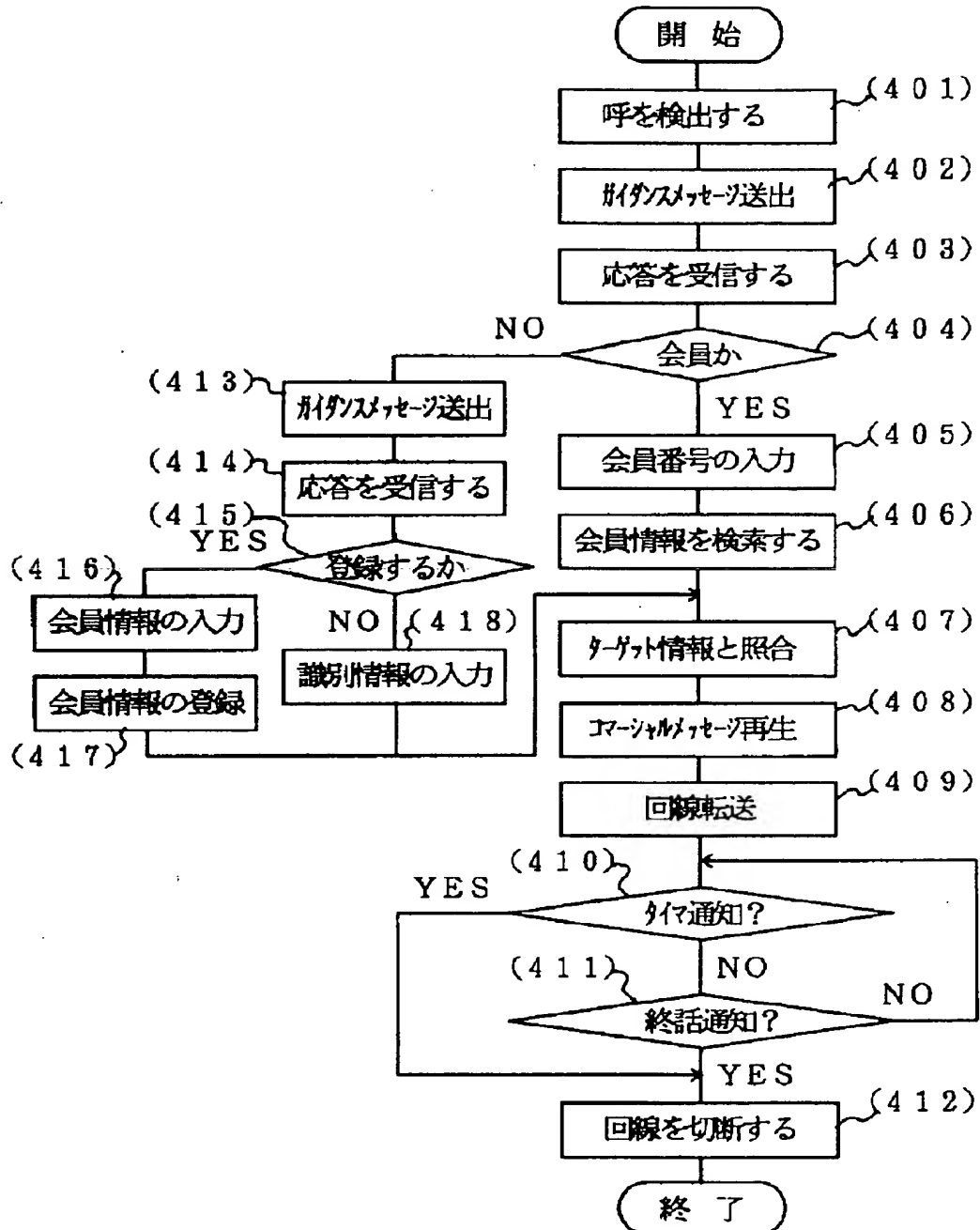
【図 4】

請求項 2 の通話料金負担サービスシステムの実施例構成図



【図 5】

通話料金負担サービスシステムの動作を表す流れ図



【図 6】

従来の通話料金負担サービスシステムの構成例を示す図

